

学校教育自己診断アンケート まとめ（令和4年度 11～12月実施）

※%は肯定率

【学習指導】

・生徒は授業について79%（1年85%、2年78%、3年73%）（昨年80%）が「難しい」と回答し昨年とほぼ横ばい、生徒の「1人1台端末を効果的に活用するなど授業の教え方を工夫している教員がいる」という評価は82.3%（1年90%、2年77%、3年80%）であった。（昨年までは「教え方に工夫」のみの別の質問であった。94%）今後も、1人1台端末やICTの活用も含めた授業改善への取組みを続けたい。

・保護者アンケートの「子どもは授業が分かりやすく楽しいと知っている」の評価は、66%（76%）で昨を下回った。今後も教え方の工夫と進度・内容の検討の継続が必要である。

・本校のキャリアガイダンス（将来の進路や生き方について考える機会）については生徒の89.7%（1年92%、2年86%、3年91%）（昨年90%）、保護者の89%（昨年90%）、教員の84%（昨年74%）が適切であると評価している。総合学科として、総合的な探究の時間も活用し、生徒への働きかけを今後も継続していく。

・選択科目について、3年生徒の79%（昨年73%）、保護者の88%（昨年92%）、教員の73%（昨年79%）が「生徒の興味関心に応えている、期待通りであった」と評価している。さらに魅力ある科目となるよう工夫に努めたい。

【生徒指導】

・学校生活に対する意識については生徒の78.0%（1年90%、2年66%、3年78%）（昨年80%）が「行くのが楽しい」と回答し、また保護者の85%（昨年86%）が「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」と、どちらもやや下回った。今後もより安全で安心な学校づくりの取組みを行っていく。

・保護者は本校の生徒指導に87%（昨年85%）が肯定的であった。生徒の「自分は生徒指導上のルールを守っている」では、90%（1年94%、2年92%、3年85%）（昨年93%）。真面目な生徒が多く、来年度も持続していきたい。生徒の「生徒指導に納得できる」では、75.7%（1年83%、2年68%、3年76%）であった。また、「人権教育の機会と内容」については生徒の88.7%（1年91%、2年88%、3年87%）（昨年91%）、保護者の89%（昨年90%）が肯定的に捉えており昨年度とほぼ横ばい。「いじめへの対応」については、生徒の85.0%（1年94%、2年79%、3年82%）（昨年87%）、保護者の87%（昨年83%）が肯定的にとらえている。新型コロナウイルス感染症に関わる偏見や差別つながる行為、いじめや体罰等の人権侵害のない学校を今後もめざしていきたい。

【学校運営】

・3年生は89%（昨年89%）が総合学科を選んでよかったと評価し、81%（昨年79%）が「自分で考える力・自主性を伸ばせた」、78%（昨年76%）が「コミュニケーション能力が身についた」と評価し、両者ともには昨年度を上回った。総合学科の特色の一部見直しを視野に入れ、今後も生徒の育成に励みたい。

・文化祭や体育祭等の学校行事について保護者は91%（昨年85%）が活発であると評価し、生徒は文化祭（学校行事）に82.0%（1年92%、2年73%、3年81%）（昨年83%）、体育祭は77%（1年86%、2年66%、3年78%）（昨年78%）が肯定的に答えており、コロナ禍での規模縮小であったが昨年を上回った。今後も生徒の自主性を尊重した学校行事の充実を図っていききたい。（（参考）行事後すぐに実施した生徒会アンケートでは、文化祭88%（昨年86%）、体育祭は83%（昨年92%）が満足と答えた。）

・教育相談については、生徒の「担任の先生以外に相談できる先生がいる」は48.3%（1年43%、2年46%、3年56%）（昨年49%）と、横ばいであるが低い数値になっている。これは主に担任が面談等を繰り返し行い、親身になって相談にのっている結果とも考えられる。相談（教育、キャリア、健康）体制について、今年度も生徒支援委員会の教員が交替で常駐したが、来室生徒数は少なかった。

・教員の「PTA活動へ参加している」が46%（昨年36%）であった。新型コロナウイルス感染症の影響もあり関係者のみで対応しているところもある。次年度は、校内でできるPTA活動の企画や行事の内容を検討し、教職員に啓発することによって参加率を高めたい。

・教員の「仕事の引継ぎがスムーズに行われて継続性がある」については46%（昨年36%）であった。これに対しては、年度替わりの各分掌、各学年、各委員会において、次年度の課題に向けての対応の仕方や、課題解決方法などを引継ぎ、一人ひとりが組織人として情報共有、共通理解を深めていく必要がある。特に主任や長が変わる場合は必ず全てのデータ（電子・紙媒体）を引き継ぎ、円滑に運営が行われるようにすることが必要である。

・教員の「職員会議等が意思疎通や意見交換の場として有効に機能している」については46%（昨年36%）であった。職員会議については、あらかじめ企画委員会で協議内容の論点を整理し、意見交換も十分に行われた後の開催となるため、そのような評価になると思われる。今年度も秋に「スクールミッション」をテーマに研究協議形式の研修会をしたところ、活発な討議がなされた。来年度も、より活発な意見交換ができる環境づくりを行う必要があると考える。

【情報提供】

・「学校は教育情報について知らせてくれる。」については、生徒は86%（1年90%、2年81%、3年88%）（昨年87%）の肯定率である。保護者は82%（昨年88%）の肯定率で、今後も情報提供の充実に向けて取組みを続けていく。

【環境】

・「学校の施設・設備に満足している」については、生徒61%（1年63%、2年49%、3年71%）（昨年66%）、保護者73%（昨年72%）、教員70%（昨年54%）であった。